

働き方改革に向けた年次計画と業務改善のための「1改善運動」(例)

年次計画(例)

「芯の通った学校組織」推進プラン第3ステージ(本文 p.43)

	テーマ	取組内容
令和2年度	◆会議・分掌・行事等の業務の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 会議等に要する時間を削減するため、以下の取組を徹底 <ul style="list-style-type: none"> ・必ずしも必要ではない<u>会議等の廃止</u>、<u>構成員が似通ったものは時間を区切って連続で開催</u> ・<u>情報伝達・交換のみの会議は校内ネットワークでの資料配付等に代替し廃止</u> ・<u>会議等の目的(ゴール)と終了時刻を設定</u>して実施 ・<u>出席者を精選し、資料は必要最小限とし事前配布</u>を行う ● 学校行事を資質・能力の視点で整理し、<u>育成を目指す資質・能力が重なる行事等については精選・見直し</u> ● 校内研修の準備に係る時間を削減するため、<u>県教育委員会が行うWeb研修等の教材や独立行政法人教職員支援機構等の動画を活用</u> ● 校内研修に係る特定の教員への負担を軽減するため、校内研修のテーマ設定や講師、司会進行等を、副担当等を置いて複数体制で行う<u>チームによる校内研修体制を構築</u> ● 授業準備に要する時間を短縮するため、<u>交換授業・教科担任制の導入(小学校)</u>
令和3年度	◆ICTの活用	<ul style="list-style-type: none"> ● 成績表・通知表・調査書・指導料録等の作成に係る時間を短縮するため、作成方法を<u>校務支援システム</u>に一元化 ● 授業準備に要する時間を短縮するため、<u>デジタル教材を共同作成し年度を跨いで校内で共用(プロジェクター・タブレット型端末の活用促進)</u> ● 職員への連絡資料の配布等に要する時間を削減するため、教職員を対象とした校内での簡易な情報伝達を<u>校内ネットワークや電子掲示板</u>に一元化 ● 学校と保護者相互の電話連絡等の時間を削減するため、「よくあるお問い合わせ」「保護者の皆さんへのご連絡」「お問い合わせ用メールアドレス」等の記事等を掲載するなど<u>学校ホームページを活用</u> ● 教職員・保護者・地域等を対象としたアンケート等の取りまとめに係る時間を短縮するため、<u>オンライン上でのアンケート</u>を導入 ● 依頼文書等の配布に要する時間を削減するため、地域のボランティア等の方との連絡方法に<u>e-mail</u>を導入
令和4年度	◆地域人材の活用と、役割分担の見直し	<ul style="list-style-type: none"> ● 生活・総合的な学習の時間の充実を図るため、ゲストティーチャーによる授業・体験活動・探究的な学習等の企画・運営に「<u>協育</u>」<u>コーディネーター</u>が参画 ● 「<u>協育</u>」<u>コーディネーター</u>を中心とした学習支援や地域連携、環境整備等の<u>ボランティア組織(人材バンク)</u>を立ち上げ ● 部活動の複数指導や地域における社会体育としての実施体制を構築するため、<u>部活動指導員を含む外部指導者や総合型地域スポーツクラブ</u>の地域人材を活用(中学校・高等学校) ● 児童生徒の登校時刻の設定と、<u>登下校の見守り隊</u>として地域人材を活用 ● 学校と家庭の連携を深めながら教育活動の役割分担を進めるため、<u>P.T.Aによる給食指導や校外学習の付き添いへの参加率の向上(小学校)</u>

[その他のテーマ例]

- ◆各種教育相談の活用
- ◆部活動の適正な運営(中学校・高等学校等)
- ◆フォルダ・ファイルの整理
- ◆校務分掌の引継ぎの仕方の見直し 他

POINT

- 「学校現場の負担軽減ハンドブック」を参考に、「1改善運動」のテーマを絞り、年次計画の下、学校全体で1つ1つ業務改善を積み重ねていくことが重要
- 校長や管理職が異動しても、年次計画に沿って途切れなく業務改善を進めることが重要
- 業務改善を行う際は、学校運営協議会等を活用し、家庭や地域の理解・協力を得ながら進めることが重要。また、次年度以降のテーマについても、前年度から協議や試行を計画的に行っておくことが円滑に見直しを進める上で重要
- 「1改善運動」と並行して、健康支援体制の充実や、ワーク・ライフ・バランスの推進に向けた各種休暇制度の取得促進を図ることが重要
- 各教科や特別活動の行事については、教科等の指導時数や内容、育成を目指す資質・能力など、カリキュラム・マネジメントの視点で質の向上と合わせて、精選・見直しを行うことが重要